

各位

発泡スチロール土木工法開発機構
事務局

発泡スチロール土木工法（EDO-EPS工法）に使用する 「新 緊結金具」に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より発泡スチロール土木工法（以下、EDO-EPS工法）についてご理解とご指導を賜り、誠にありがとうございます。

さて、これまで私ども発泡スチロール土木工法開発機構（以下、EPS開発機構）では発泡スチロールブロック（以下、EDO-EPSブロック）による盛土等の構築に際し、図-1に示す従来の「緊結金具」を用いてブロック相互を連結一体化し、盛土等の変形の抑制ならびに耐震性の向上に努めてまいりました。

しかし、近年では2016年熊本地震のように震度7クラスの地震動が連続するなど、これまでに想定されていない大規模な地震が相次いでいます。

そのためEPS開発機構では、EDO-EPS工法による盛土の耐震性をさらに向上させ、複数回の大規模地震に対してもより高い健全性を確保できるよう、図-2に示す「新 緊結金具」を開発いたしました。

そして、国土交通省による「発泡スチロールブロックによる軽量盛土を採用する場合には、高さ8m以上の実証実験により耐震性能が証明されていること」という指摘に対応するために、2018年6月に国立研究開発法人 防災科学技術研究所 大型耐震実験施設（写真-1）において最大高8mの両直型盛土を構築し、複数回の作用地震動に対して「新 緊結金具」の耐震性能が有効であることを確認いたしました。

このため、今後のEDO-EPS工法の設計、施工あるいは維持管理におかれましては緊結金具として「新 緊結金具」を折り込んでいただきますよう、お知らせとともにお願い申し上げます。

なお「新 緊結金具」は2019年4月より順次出荷いたします。また、従来の「緊結金具」は2019年3月末をもって製造を中止いたします。従来の緊結金具による設計が完了している場合もありますが、順次「新 緊結金具」を取り入れていただきますようお願い申し上げます。

さらに、これらの設計方針は、2019年4月に改訂いたします「EDO-EPS工法 設計・施工基準書」（発泡スチロール土木工法開発機構 発行）にも記載いたしますので、あわせてよろしくようお願い申し上げます。

敬具

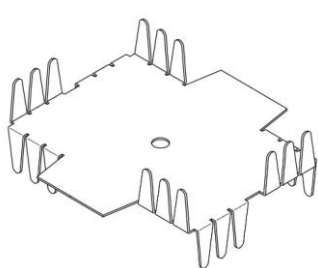


図-1 従来 緊結金具
150mm×100mm

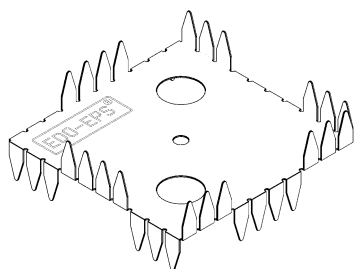


図-2 新 緊結金具
150mm×150mm



写真-1 防災科学技術研究所 大型耐震実験施設 EDO-EPS盛土（最大高8m）

お問い合わせ先：発泡スチロール土木工法開発機構 事務局

(Tel : 03-5337-4063, Fax : 03-5337-4091, E-mail : edo-info@cpcinc.co.jp)